

### 第3回 在宅医療推進委員会・記録

日 時：平成24年1月30日（月）午後7時30分～午後9時10分  
場 所：鳥取県西部医師会館 1階 会議室1  
出席者：野坂会長、飛田副会長、寶意理事、安達常任理事、細田理事、藤瀬参与、  
吹野参与、越智参与、面谷参与、福田先生、石井先生、下山先生、田辺先生  
米子医療センター山根成之先生  
欠席者：小林理事、松野参与、都田参与、三上先生、鳥羽先生、神戸先生、豊田先生  
楠本先生

#### 【協議事項】

##### (1) 委員会委員長、副委員長について

委員長 - 野坂会長 副会長 - 福田先生  
委員長が寶意先生から野坂会長にかわった。

##### (2) 今後の在宅医療推進の為の具体的な実行案の作成について

- ・飛田先生が用意された「在宅医療・在宅看取りに関するアンケート（案）」や、  
寶意先生や野坂会長が用意された他県・大山町のアンケートを参考に、至急  
アンケートを作成する。
- ・年度内にアンケートを回収して、アンケートの分析は業者に依頼したい。

##### (3) その他

- ・医師会側の在宅の推進であって、患者への推進ではない。
- ・病院との連携に不安がある先生が多い。（バックアップ、サポートが必要）
- ・近くの診療所を紹介する方が患者さんのために良い場合もあるが、なかなか  
診療所の紹介ができない時もある。
- ・診療所→病院の紹介はいいが、診療所→診療所の紹介に苦しむことがある。
- ・在宅医療と在宅看取りはちがう。
- ・在宅は家族がついていないといけないので、共働きの家は時間もお金もかかる。  
看取りはゴールがあるからいいが、ゴールのない在宅はむずかしい。
- ・老老介護は両方ダメになることがある。
- ・在宅は訪問看護ステーションとの連携が必要。
- ・やたらと連絡してきて「すぐに来てくれ」と言う、困った訪問看護ステーショ  
ンもある。
- ・在宅の患者さんが亡くなった時の対応（警察への連絡、書類について）
- ・目標は、西部地区の在宅看取り率が1%でも上がるようにしたい。

